

平成 29(2017)年度 一橋大学大学院社会学研究科 総合社会科学専攻 修士課程学生募集(春期)要項

社会学研究科は、社会科学の分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と学識ある高度な専門的職業人を育成することを目的としています。総合社会科学専攻は、各専門分野における学術探究とその総合的発展を担う意欲と創造性を具えた人材の育成をめざしています。

- ・ 修士課程は、社会科学の幅広い知識と深い問題意識によって支えられた研究基盤と高度な実践能力を具えた人材を育成することを目的としています。(1) 修士課程を修了した後その知見を生かして高度な専門的職業人をめざす方、(2) 博士後期課程への進学を希望する方、のいずれも歓迎いたします。
- ・ 総合社会科学専攻修士課程の入学試験は2回実施します。秋期試験(9月)では特別選抜による若干名を含めて50名を、春期試験(2月)では20名を定員とします。秋期試験の一般選考では筆記試験などを含む総合的審査を、特別選抜では出願書類の内容と成績評価を総合して審査を行います。また、春期試験では、卒業論文審査などを含む総合的審査を行います。

1. 募集人員 20名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項により、学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了し、B.A.またはB.S.を取得した者及び平成29年3月までに取得見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (5) 日本において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項(大学院への飛び入学)の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22才に達した者及び平成29年4月1日までに22才に達する者
- (11) 所定の手続きにより、本研究科において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

注1 出願資格の(9)または(11)による志願者は、必ず11月末日までに社会学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

注2 出願資格(10)による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査書類等を本要項の配布開始日から11月末日までの期間に配布しますので、社会学研究科事務室まで問い合わせてください。個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、11月21日(月)から11月25日(金)までです。入学資格審査結果は12月9日(金)頃に通知する予定です。

3. 出願期間

- (1) ウェブ志願フォーム入力期間
平成29年1月10日(火)9:00~1月18日(水)17:00まで
- (2) 出願書類提出期間
平成29年1月17日(火)~1月20日(金)17:00まで

4. 出願手続

出願手続には、「(1) 志願フォームへのウェブ入力」、「(2) 出願書類の郵送」の両方が必要です。

(1) 志願フォームへのウェブ入力

出願期間内に以下のウェブサイトアクセスし、志願フォームに必要事項を入力してください。

http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/exam_list/

注1 入力の際には、上記ウェブサイトに掲載されている「志願フォーム入力マニュアル」を参照してください。

注2 1月18日(水)17:00を過ぎると志願フォームへの入力ができなくなりますのでご注意ください。

注3 志願フォーム「研究題目」欄には、「5. 出願書類・検定料」の「研究計画書」の研究題目と同じ内容を入力してください。

(2) 出願書類の郵送

志願者は、「5. 出願書類・検定料」の出願書類を一括し、封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書して、**郵送(書留郵便)**により、**〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院社会学研究科事務室**宛てに提出してください。

出願書類提出期間は平成29年1月17日～1月20日です。なお、1月20日(金)は17時必着です。

注1 出願期間を過ぎて着いたものについては、1月18日(水)以前の消印のあるものだけに限り受け付けます。

注2 出願者本人もしくは代理人が出願書類を直接持参しても一切受け付けません。

注3 外国からの出願を希望する場合は、この「4. 出願手続」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

5. 出願書類・検定料

書 類 等	提出者	摘 要
志願フォームへのウェブ入力によって作成した志願書	全 員	志願フォームへのウェブ入力が完了した際にダウンロードできる「記入済み志願フォーム」をプリントアウトし、自署したもの1通。
写 真 票	全 員	1通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
研究計画書	全 員	3通。1通は所定の用紙を用い、日本語で作成してください。他の2通はそれを複写してください。
卒業論文等	全 員	卒業論文を複写したもの2通。ただし、卒業論文を提出せず、学士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、卒業論文に代わる論文1篇の複写2通。なお、卒業論文等の内容と修士課程での研究題目が大きく異なる場合は、卒業論文に加えて日本語または英語で作成した補充論文の提出を認めます(この場合も2通を提出してください)。
卒業論文等の要旨	全 員	上記に基づき提出する卒業論文等の要旨3通(日本語4,000字程度または英語1,600単語程度)。補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨3通(日本語4,000字程度または英語1,600単語程度)も提出してください。A4判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名および氏名を明記してください。
卒業(見込)証明書等	全 員	出身大学の長が作成したもの、または大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書もしくは短期大学長または高等専門学校長の発行する学位授与申請(予定)証明書1通を提出してください。なお、本学卒業(見込)者は、成績証明書をもって代えます。 「2. 出願資格」(3)(4)(6)による志願者は、取得した学位(B.A.またはB.S.等)を明記した証明書1通をあわせて提出してください。ただし、取得見込みの者は卒業見込証明書をもって代えます。
成績証明書	全 員	1通。出身大学の長が作成したもの。
在留カードの写し等	外国人志願者	1通。在留カード(または外国人登録証明書(在留期間、在留資格が明記されたもの))の写しを提出してください。ただし、在留カード(または外国人登録証明書)が交付されていない者については、パスポートの写しを提出してください。
受験票送付用封筒	全 員	1枚。長形3号封筒(23.5cm×12cm)に簡易書留相当分(392円)の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
検 定 料 30,000円	全 員	原則として 出願期間内 に 三井住友銀行 国立支店の 口座名: 国立大学法人一橋大学社会学研究科 検定料口 口座番号: (普通預金) 7761819 あてに検定料30,000円分を振り込み、 その明細書等の写しを出願書類と一緒に提出してください。 なお、日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注1 複数の大学を卒業(見込)または大学院を修了(見込)の場合は、すべての大学、大学院における「卒業または修了(見込)証明書」「成績証明書」を提出してください。

注2 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。

注3 外国の証明書で複写したものしか提出できない場合は、大使館等の公的機関で原本証明されたものを提出してください。なお、中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証・認証手続きは、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）又は各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行われます。また、教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。中国国内の教育機関卒業（見込）・修了（見込）の方は、早めに手続きを開始するようにしてください。

注4 成績証明書や卒業証明書が旧姓で発行される場合、戸籍抄本を添付してください。

6. 選考方法および選考基準

第1次試験では、卒業論文等の提出論文および出願書類に基づき、受験者の着想力や論点の展開力、論文の構成力・論証力等を基準に審査します。第1次試験の合格者に対して第2次試験を行います。

第2次試験では、面接による口述試験を行います。ここでは提出論文および出願書類にそって、専門領域の学力、研究計画の妥当性および実行可能性等を基準に審査します。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を面接時に行います。ただし、研究課題との関係において、入学志願票で選択した外国語の試験が適当でない場合には、他の外国語の試験、または日本語の史資料等についての読解試験を行います。第1次試験と第2次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

(1) 第1次試験（書類選考）

第1次試験合格者発表および第2次試験の試験室・時間割の発表

日 時	発 表 方 法
2月8日（水）13時	大学内掲示場（法人本部棟南側）への掲示およびウェブサイトへの掲載（URLは出願者に通知します）

(2) 第2次試験（口述試験）

試験場 一橋大学（JR中央線 国立駅下車、南へ徒歩約10分）

試 験 日 時	試 験 科 目
2月14日（火） 9時30分～18時頃	口述試験（1人60分程度）

※ 第2次試験の際には必ず受験票を持参してください。

7. 合格者発表

日 時	発 表 方 法
2月16日（木）13時	大学内掲示場への掲示およびウェブサイトへの掲載（合格者には郵送にも通知します）

8. 入学手続

(1) 入学料の納入期間

平成29年3月3日（金）～3月9日（木）

この期間内に納入がない場合は入学辞退者として取扱います。

(2) 入学料の納入額 282,000円

(注) 本学には入学料の免除・徴収猶予の制度がありますので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。（入学料納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。）

(3) その他

入学手続に必要なその他の提出書類とその提出期間については、合格者に改めて郵送にて通知します。

授業料（年額535,800円）については、入学後に納入することになります。納入時期・納入方法については改めて通知します。上記納入金額は予定額であり、在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

9. 注意事項

(問い合わせについて)

(1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。

(2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q&A」が用意されています。その他、出願手続等、入学試験に関する問い合わせは、住所、氏名を明記のうえ、書面または電子メールで行ってください。

(他の募集、併願について)

(1) 地球社会研究専攻修士課程春期募集および特別選考による外国人の修士課程入学試験との併願は認めません。

(2) 地球社会研究専攻修士課程春期募集および特別選考による外国人の修士課程入学試験については、別に募集要項を配布します。

(専攻および研究分野について)

- (1) 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- (2) 入学後所属することを志願する研究分野を1つ選択して、志願フォームと研究計画書に明記してください(演習担当教員一覧参照)。入学後、この研究分野に所属している教員以外を指導教員(第一演習担当教員)として選ぶことは原則としてできませんので、志願する研究分野は慎重に選択してください。研究分野についての詳しい説明は、社会学研究科ウェブサイトの「履修ガイド」にあります。

(提出書類について)

- (1) 志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。
- (2) 出願書類および検定料は返却しません。また、「**5. 出願書類・検定料**」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。

(身体に障害を有する入学志願者の事前相談について)

身体機能に障害があり、受験時や入学後の学習に特別の措置を必要とする志願者は、その旨を出願期間前に社会学研究科事務室に申し出てください。申し出にしたい、所要の措置を講じます。なお、この申し出によって不利益を被ることはありません。

(プライバシー・ポリシー)

入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

(国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)について)

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)への入居希望者は、平成28年12月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

社会学研究科 ウェブサイト <http://www.soc.hit-u.ac.jp/>

社会学研究科 電子メールアドレス info@soc.hit-u.ac.jp

※ アドミッション・ポリシーについては以下のページをご覧ください。

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/>

平成29(2017)年度

一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻

演習担当教員一覧（研究分野別）

（※印のある教員は平成29年度の第一演習を担当しません。）

（社会動態研究）

町村敬志教授（社会学・社会調査）
菊谷和宏教授（社会学）
多田治教授（社会学）
深澤英隆教授（宗教学・宗教社会学）
小林多寿子教授（社会調査・社会学）
伊藤るり教授（国際社会学）
小井土彰宏教授（国際社会学）
佐藤文香教授（ジェンダー研究）

（社会文化研究）

加藤泰史教授（社会哲学）
大河内泰樹教授（社会哲学）
井頭昌彦准教授（社会哲学）
森村敏己教授（社会思想）
井川ちとせ教授（英語圏文芸思想）
久保哲司教授（独語圏文芸思想）
中野知律教授（仏語圏文芸思想）
洪郁如教授（中国語圏・台湾社会文化史）
五十嵐陽介准教授（言語学・音声学・ロシア語学）

（人間行動研究）

村田光二教授（社会心理学）
安川一教授（社会心理学）
稲葉哲郎教授（社会心理学）
春日直樹教授（社会人類学）
大杉高司教授（社会人類学）
久保明教准教授（社会人類学）
児玉谷史朗教授（社会地理学・アフリカ地域研究）
上田元教授（社会地理学・地域環境論）
大坪俊通教授（地球科学）
大瀧友里奈教授（環境科学）

（人間・社会形成研究）

木村元教授（教育社会学）
中田康彦教授（教育社会学）
山田哲也教授（教育社会学）
太田美幸准教授（教育社会学）
尾崎正峰教授（スポーツ社会学）
坂上康博教授（スポーツ社会学）
坂なつこ教授（スポーツ社会学）
鈴木直文准教授（スポーツ社会学）
吉田裕教授（政治学）
中北浩爾教授（政治学）
田中拓道教授（政治学）

（総合政策研究）

倉田良樹教授（雇用関係・雇用政策）
西野史子准教授（雇用関係・雇用政策）
林大樹教授（コミュニティ政策）
猪飼周平教授（社会政策）
堂免隆浩准教授（都市・地域政策）
白瀬由美香准教授（社会福祉・社会政策）

（歴史社会研究）

渡辺尚志教授（社会史日本）
若尾政希教授（社会史日本）
石居人也教授（社会史日本）
※佐藤仁史教授（社会史アジア）
加藤圭木専任講師（社会史アジア）
阪西紀子教授（社会史ヨーロッパ）
森村敏己教授（社会史ヨーロッパ）
秋山晋吾教授（社会史ヨーロッパ）
中野聡教授（社会史アメリカ）
貴堂嘉之教授（社会史アメリカ）